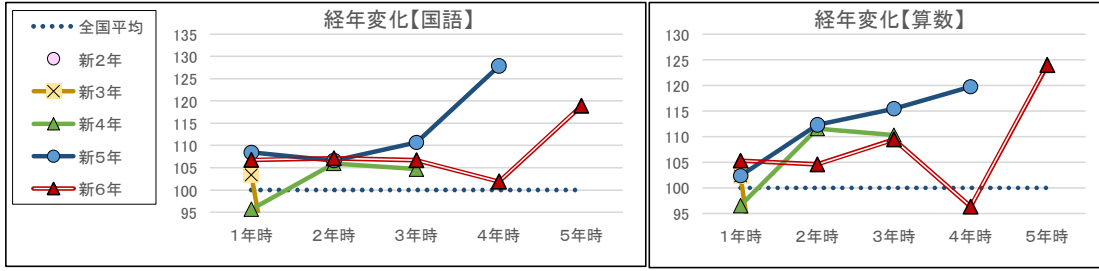


I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、3～6年生を対象に標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に1・2年生においても実施しています。



② 学校の状況

○各種調査の結果から、大部分の児童は規則正しい生活を送っているが、学年が上がるにつれ、生活リズムが乱れる傾向が見られる。（睡眠時間の減少、メディア時間の増加）

○毎月の「学習のきまりの振り返り」の結果などから、授業に落ち着いて取り組んでいる様子が見られる。全ての活動で自分の考えをもって発表したり、交流を通して考えを深めたりするなど「考える・話す・深め合う」力をのばす必要がある。

○標準学力検査では、全校的に全国平均を上回っている教科、領域が多かった。

○＜国語＞①漢字の読み書き、言葉のきまりは概ね定着している。

②「話す聞く」の中で、正しく聞き取り、自分の考えをまとめて表現する力が十分でない。

○＜算数＞①学年が進むにつれ、基礎的な学習内容の未定着な児童が増えている。

②文章題の意図を読み取る力、順序立てて「説明」する言葉の力を高める必要がある。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

| 授業づくり | 学習集団づくり | 学習習慣・環境づくり |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を通して、「わかりやすい授業づくり」を目指す。特に、授業のねらいを明確にし、「自分の考えを持つ」「互いの考えを伝え合う」機会をもち、交流を通して、考えを深めていく授業づくりに努める。 ・ ICT機器を効果的に活用し、分かりやすい授業づくりに取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「朝読書」の時間や読み聞かせの機会を設けることによって、読書への興味関心を高める。 ・ 「学習のきまり」の振り返りを毎月末に行うことで、集中して学習に取り組める環境をつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「朝学習」で中央小検定に取り組むことで、漢字の読み書き、計算、都道府県など基礎的な内容の定着を図る。 ・ 「家庭学習のしかた」を指導し、自主学習ノートを交流することで、自主的な学習態度と学習方法の定着を目指す。 ・ 「生活リズムチェックシート」の取り組みを通して、家庭と連携を図って望ましい生活習慣の定着を目指す。 |

② 各学年の指導の重点

| 1年生の重点 | 4年生の重点 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な学習習慣が身につくように、「学習のきまり」をきめ細かく指導する。 ・ 読み書き、計算の基本の定着をめざし、反復練習に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語：漢字の読み書きの定着に向けて、反復練習に取り組む。 ・ 国語：話を正しく聞き取り、自分の考えを分かりやすく発表する力を高める。 ・ 国語：語彙を増やすために、国語辞典を活用する。 ・ 算数：基礎計算に繰り返し取り組む。 ・ 算数：応用力を高めるために、問題文の読み方、式の立て方などを指導する。 |
| 2年生の重点 | 5年生の重点 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語：色々な読み物に触れる機会を増やし、読書習慣を定着させ、語彙を増やす。 ・ 国語：日記や作文の取組、発表の機会を多く持ち、表現する力を高める。 ・ 算数：既習事項や基礎計算に繰り返し取り組み、基礎力の向上を図る。 ・ 算数：交流の機会を持ち、自分の考えを順序立てて説明する力を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語：語彙を増やすために、国語辞典を活用する。 ・ 国語：「話す聞く」場面を設定し、考えを伝え、交流する力を高める。 ・ 算数：文章問題では、問われている内容を理解し、式を立てる力を高めるために、文章題に取り組む機会を多く持つ。 ・ 算数：既習事項や基礎計算に繰り返し取り組み、基礎力の向上を図る。 |
| 3年生の重点 | 6年生の重点 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語：読み物に触れる機会を増やし、読書への興味関心を高める。 ・ 国語：交流の機会を多く持ち、話を正しく聞き取り、考えを伝える力を高める。 ・ 算数：計算問題を速く正確に解けるよう基礎問題に繰り返し取り組む。 ・ 算数：文章問題への対応ができるように、問題の読み方、式の立て方などを丁寧に指導する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国語：「話す聞く」機会を多くもち、表現する力、聞く力、交流する力を高める。 ・ 算数：学習した内容を折に触れて復習するとともに、発展的な学習にも取り組む。 ・ 算数：文章問題へ対応する力を高めるために、文章を理解する力を国語と関連づけて指導していく。 |